

問 7月から開始したフロアマネージャーの市民反応は如何か。

市長 市民の皆様への反応は、アンケートから見ますと、賛否両論あるものの、肯定的な意見が多く見受けられます。今後も市民の皆様への声を参考としながら、フロアマネージャーが市民の皆様に対するサービス向上に、より結びつくよう努力したいと考えています。

個人質問 山本 義一

環境問題

問 大関調節池の環境整備にどの様に取り組むのか。

市長 平成15年度には、調節池の家庭雑排水の残留解消のため、試行的に調節池底面の改良工事を実施したところですが、今年度は、環境美化を目的として、調節池周辺の一部に「あやめ」を植栽し、さらに引き続き、調節池底面の改良工事を行う予定です。

問 印旛沼の水質改善にどのような取り組みをしているのか。

市長 国の関係機関や専門家の参加を得て、印旛沼流域水循環健全化会議を立ち

大関調節池底面



上げ、平成16年2月には、緊急行動計画を策定しました。現在は、この計画に基づき各種の施策を展開し、その効果を確認する行動を行っています。具体的な本市の取り組みとしては、公共下水道の整備や合併浄化槽の普及促進、雨水の貯留・浸透、河川の清掃などです。なお、本年10月には、本市において鹿島川・高崎川流域で活動するNPO団体の意見交換会として、第2回印旛沼わいわい会議を開催する予定です。

問 公共下水道の進捗状況と合併浄化槽の設置状況はどうか。

市長 公共下水道の進捗状況は、平成16年度末現在、管渠延長98・3キロメートル、整備面積398ヘクタールとなっており、これによる整備率は都市計画決定区域面積594ヘクタールに対して67%、全体計画流域面積1千30ヘクタールに対して38・6%です。合併浄化槽の設置状況は、平成16年度末現在、約9千基です。なお、現在も約6千基の単独浄化槽が使用されているので、合併浄化槽に切りかえていただくよう引き続き補助制度のPR活動を行っています。

問 緑化推進の取り組みはどうか。

市長 現在、農家の方々を対象に調査を行っているところですが、今後緑の育するさまざまな効果が発揮できるよう、地域の緑化促進を図り、豊かな自然と共存したまちづくりに努めたいと考えています。

子育て支援の充実

問 市民から乳幼児医療費

対策についてどのような要望があるのか。
市長 医療費助成内容については、市町村により県の基準を超えて年齢を引き上げる等、一部独自の助成を行っているところもありますが、市の窓口などにおいて、特に助成の拡大を要望されていることはありません。

問 保育園の待機児童解消にどのように取り組んでいくのか。
市長 今後の待機児童解消は、本年3月に策定した「八街市次世代育成支援行動計画」にも盛り込んであるように、私立保育園を導入することにより、待機児童の多い3歳未満児の受け入れ拡充を図るとともに、子育て支援センターを併設することにより、子育て支援体制のさらなる充実・強化を図りたいと考えています。

道路整備

問 南中学校前の整備計画を具体的に何う。

市長 主要幹線道路を結ぶ幹線道路として位置づけ、既に概略設計が完了しています。今年度は、この概略設計をもとに市道四木28号線の狭い部分についての道路改良工事を既に発注したところです。今後は、市の財政状況を十分勘案し、計画的に整備を進めたいと考えています。

学校教育振興

問 「生きる力」や「学力の向上」をより高めていくために、今一度八街市教育センターの見直しをしてはどうか。

市長 昨年は、幼小中高連携全国公開研究会がありま



市道114号線(吉倉区)

ていますので、今後は財政状況を勘案し、整備計画を策定したいと考えています。

日本共産党

丸山わき子
右山 正美
京増 藤江

代表質問 京増 藤江

市長の政治姿勢

問 生活保護受給者の増加や国保税・介護保険料の収納率の悪化等市民の生活は深刻である。このような時だからこそ、来年度予算編成は市民の命と暮らしを守るものにすべきである。そのため、八街駅前約1